



2020年11月12日

各 位

会社名 日産車体株式会社
代表者名 取締役社長 吉村 東彦
(コード番号 7222)
問合せ先責任者 総務部部长 中津川 隆則
(TEL. 0463-21-8001)
当社の親会社 日産自動車株式会社
(コード番号 7201)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年7月28日に「2021年3月期 通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」において開示した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	346,500	△3,700	△2,200	0	0.00
今回発表予想(B)	361,600	△2,000	△400	0	0.00
増減額(B-A)	15,100	1,700	1,800	—	—
増減率(%)	4.4	45.9	81.8	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	498,831	9,303	9,802	5,827	43.02

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、主に、日産自動車株式会社より当社グループが受託生産している「シベリアン」及び「アトラス」の生産が2021年6月をもって終了することに伴う当該2車種の生産設備を対象として減損損失を計上しました。一方、当連結会計年度は依然として新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続いておりますが、当社グループの主たる事業セグメントである自動車関連については、売上車種構成の改善や生産性の改善・固定費削減の取組みによるコスト面の改善も見込まれており、営業利益・経常利益は前回予想を上回る見込みとなります。また親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、先の減損損失を営業利益・経常利益の改善で補うこととなり前回予想からの変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の感染症の収束状況など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上